



東京都社会福祉事業団

七生福祉園 園だより

令和3年3月発行 第273号

令和2年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は一般社団法人リッコラボです。
児童施設と成人施設の評価の概要は次のとおりです。

児童施設（福祉型障害児入所施設）	成人施設（障害者支援施設）
特に良いと思う点 - ICT化を積極的に進めることにより、業務の効率化や経費削減に加え、利用者支援にかけける時間の確保に取り組んでいる。 - 入所支援計画作成のプロセスをはじめ、日常の記録から子どもも本位の支援に尽力している状況がうかがえる。 - 組織としての必須項目の共有と寮の独自性を併せ持つマニュアルの整備を図っている。	特に良いと思う点 - 地域の障害福祉の拠点としての自覚の下、さまざまなネットワーク構築に努めるとともに、地域生活移行への一連の流れの構築を図っている。 - 生活寮や活動支援棟の職員や各専門職等、職員間の密な連携・協力により、利用者一人ひとりのライフステージの充実を図っている。 - 共同受注・販売を活用して販路拡大を図る中、地域住民とのつながりを実感できる等、利用者の働く意欲の向上につなげている。
さらなる改善が望まれる点 - 支援現場の職員の意欲向上につながる具体的な方策を検討・導入していくことが期待される。 - 各種マニュアルや規程の浸透状況を把握・確認する取り組みを強化することにより、職員の共通理解を深めていくことが期待される。 - B C Pの内容について職員への周知を図るとともに、実際に訓練を実施する等により、理解浸透を図っていくことが期待される。	さらなる改善が望まれる点 - 支援の根幹となる本人の意向が見えにくい状況となっていることから、個別支援計画に明確に示すことが期待される。 - B C Pの内容について職員への周知を図るとともに、実際に訓練を実施する等により、理解浸透を図っていくことが期待される。 - 支援に関わる全職員が介護技術等を習得することができるように、学びの機会のさらなる充実が望まれる。
特に力を入れている取組 - サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。 - 個別の支援計画に基づいて子どもの状態に応じた支援を行っている。 - 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる。	特に力を入れている取組 - 個別の支援計画等に基づいて利用者の望む自立した生活を送れるよう支援を行っている。 【生活介護】日常生活上の支援や生活する力の維持・向上のための支援を行っている。 - 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている。

当園の園だよりは知的障害のある方への合理的配慮からルビをつけて提供しております。ルビ無しをご希望の方は当園職員までお申し出ください。

短期入所（児童支援部門）	短期入所（成人支援部門）
特に良いと思う点 - 利用後のアンケートからの意見・要望を次回の利用時に反映させる等、職員の丁寧な対応がリピーター率の向上につながっている。 - 学齢児は通学が保障され、未就学児は日中保育で他の子どもと交流する等、安心して利用できる環境が整えられている。 - セーフティネットとしての役割を担っている自覚の下、緊急性の高い利用ニーズへの対応に取り組んでいる。	特に良いと思う点 - 短期入所の利用ニーズに最大限応える姿勢で受け入れを進めるとともに、利用者が安心でき、楽しみながら過ごせる環境整備を図っている。 - 利用者の気持ちを第一に考え、将来の生活に関しても、本人の利益に合った方向性を検討し、自立を支援している。 - 短期入所利用期間中も日中活動に参加できる等、利用者の生活の充実を図っている。
さらなる改善が望まれる点 - P R活動を積極的にを行い、引き続き潜在的な利用ニーズに事業所の情報が届くように取り組まれない。 - 子どもへの不利益が生じないよう、本人に関する詳細な事前情報の入手へのさらなる働きかけの強化が望まれる。 - 各種マニュアルや規程の浸透状況を把握・確認する取り組みを強化することにより、職員の共通理解を深めていくことが期待される。	さらなる改善が望まれる点 - 施設が予定した職員数の確保に引き続き努めるとともに、他部署の職員が利用者支援の応援にまわる体制整備に着手していくことが期待される。 - B C Pの内容について職員への周知を図るとともに、実際に訓練を実施する等により、理解浸透を図っていくことが期待される。 - 利用者への不利益が生じないよう、本人に関する詳細な事前情報の入手へのさらなる働きかけの強化が望まれる。
特に力を入れている取組 - サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している。 - 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる。 - 個別の支援方針をいかながら、利用者に合った自立生活を送るための支援をしている。	特に力を入れている取組 - 家族等との交流・連携を図っている。 - 利用者の主体性を尊重し、利用中の生活が楽しく快適になるような取り組みを行っている。 - 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている。

詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。ファイルの閲覧希望の方は、職員にお申し出ください。

園では評価結果を踏まえ、利用者サービスのより一層の向上に努めてまいります。

今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況など

令和3年2月28日現在（人）

児 童	入 所	退 所	退 所 先 内 訳		
			グループホーム	成人施設	家庭
	10	21	14	3	4
成 人	入 所	退 所	退 所 先 内 訳		
			グループホーム	他施設	その他
	0	3	0	3	0

【児童支援部門】

今年度（令和3年2月28日現在）の入退所状況ですが、4歳から15歳までの児童10名が新しく入所し、退所した児童は21名でした。グループホームに移行された方は14名でした。

【成人支援部門】

退所された方の内訳としては、他施設に移行された方が3名でした。